

著者紹介

秋山 昌範

1983年徳島大学医学部卒業、同泌尿器科、慶應義塾大学医学部病理学、国立四国がんセンター、国立国際医療センターを経て、東京医科大学医療情報部客員教授、浜松医科大学非常勤講師、慶應義塾大学医学部非常勤講師。2005年10月より、マサチューセッツ工科大学スローン校客員教授、医学博士。

天野 英晴 (正会員)

1986年慶應義塾大学大学院修了、工学博士。現在、同大教授。

安藤 秀樹 (正会員)

1983年大阪大学大学院修士課程修了。京都大学工学博士。1983年三菱電機(株)、1991年Stanford大学客員研究員、1997年名古屋大学講師、1998年同大助教授、2004年同大教授。

今井 秀樹 (正会員)

昭和46年東京大学大学院・博士課程修了。工学博士。横浜国立大学教授等を経て、平成4年東京大学教授。平成17年産業技術総合研究所RCIS研究センター長、学術会議会員兼務。電子情報通信学会理事、監事、IEEE ITSOC会長、CRYPTREC委員長等を歴任。

入江 英嗣 (正会員)

2004年東京大学大学院情報理工学系研究科電子情報学専攻博士課程修了。博士(情報理工学)。プロセッサアーキテクチャ等の研究に従事。現在、科学技術振興機構CREST“ディベンダブル情報処理基盤”研究員。

岩崎 英哉 (正会員)

1960年生。1983年東京大学工学部計数工学科卒業。1988年同大学院工学系研究科情報工学専攻博士課程修了。東京大学計数工学科、同大教育用計算機センター助教授。東京農工大学工学部電子情報工学科、東京大学大学院工学系研究科情報工学専攻、電気通信大学情報工学科助教授を経て、2004年から電気通信大学情報工学科教授、工学博士。

加藤 幹之

1977年富士通(株)入社。法務部で主に海外との契約や紛争を担当。その後、米国に17年近く滞在し、通商問題等の案件に対応する一方、インターネットや電子商取引等、IT分野の国際的な法制度確立に貢献。2002年に帰国し、2004年より現職。米国弁護士資格を持ち、論文や講演も多い。

亀山 研一 (正会員)

昭和61年東京大学大学院産業機械工学専攻課程修了。(株)東芝に入社。総合研究所(現、研究開発センター)機械研究所にて主にパーソナルリアリティシステムの研究開発に従事。現在、同社研究開発センターヒューマンセントリックラボラトリーにて、睡眠計測器など健康機器の研究開発に従事。

吉瀬 謙二 (正会員)

1995年名古屋大学工学部電子工学科卒業。2000年東京大学大学院情報工学専攻博士課程修了。工学博士。同年電気通信大学大学院情報システム学研究科助手。計算機アーキテクチャ、並列処理に関する研究に従事。電子情報通信学会、IEEE-CS、ACM等各会員。

木村 啓二 (正会員)

平成13年早稲田大学大学院理工学研究科電気工学専攻博士課程修了。博士(工学)。平成17年同大コンピュータ・ネットワーク工学科助教授。現在に至る。プロセッサアーキテクチャ、コンパイラに関する研究に従事。

木村 康則 (正会員)

1981年東京工業大学(修士)修了。同年富士通研究所入社。1985～88年(財)新世代コンピュータ技術開発機構出向。本会論文誌編集委員、SACIS2004組織委員長、CPSY委員長等を歴任。現在、富士通研究所ITコア研究所、博士(工学)。

胡 振江 (正会員)

1966年生。1996年東京大学大学院工学系研究科情報工学専攻博士課程修了。日本学術振興会特別研究員を経て、1997年東京大学大学院工学系研究科情報工学専攻助手、同年10月同専攻講師、2000年同専攻助教授。2001年より東京大学大学院情報理工学系研究科助教授。工学博士。

五島 正裕 (正会員)

1968年生。1992年京都大学工学部情報工学科卒業。1994年同大学院工学研究科情報工学専攻修士課程修了。同年より日本学術振興会特別研究員。1996年京都大学大学院工学研究科情報工学専攻博士後期課程退学、同年より同大工学部助手。1998年同大学院情報学研究科助手。2005年東京大学情報理工学系研究科電子情報学専攻助教授。計算機システムの研究に従事。2001年本会山下記念研究賞、2002年本会論文賞受賞。IEEE会員。

坂井 修一 (正会員)

1981年東京大学卒業。1986年同大学院修了。工学博士。電子技術総合研究所、MIT、筑波大学などを経て、1998年東京大学助教授、2001年同教授。計算機システムとその応用の研究に従事。

土井美和子 (正会員)

1979年東京大学工学系修士課程修了。同年東京芝浦電気(株)(現(株)東芝)総合研究所(現研究開発センター)入所。以来、「ヒューマンインタフェース」を専門分野とし、日本語ワープロ、機械翻訳などの研究開発に従事。博士(工学)。現在、総務省情報通信審議会委員、文部科学省科学技術・学術審議会専門委員、本会理事、電子情報通信学会理事、慶應義塾大学非常勤講師などを務める。全国発明表彰発明賞、Best of World PC EXPO テクノロ

ジー部門最優秀製品、電子情報通信学会業績賞、本会 Best Author 賞など受賞8件。電子情報通信学会、ヒューマンインタフェース学会、ACM、IEEE 各会員。

中津 良平 (正会員)

関西学院大学理工学部教授および(株)ニルバーナテクノロジー代表取締役社長。マルチメディア、エンタテインメント等に関する技術の研究。IFIP SG16 Chair。IEEE、ACM、電子情報通信学会、日本音響学会、人工知能学会等各会員。E-mail: nakatsu@ksc.kwansei.ac.jp <http://www.nirvana.ne.jp/updatefile/nakatsu/index.html>

中村 宏 (正会員)

1990年東京大学大学院・工・博士課程修了。工学博士。1996年より同大先端情報助教授。高性能・低消費電力プロセッサアーキテクチャ、ハイパフォーマンス&ディベンダブルコンピューティングの研究に興味を持つ。本会論文賞、坂井記念特別賞各受賞。

増井 俊之 (正会員)

(独)産業技術総合研究所にて、情報検索、テキスト入力、情報視覚化、実世界指向インタフェース、富豪のプログラミングなどの研究に従事。

松尾 和洋 (正会員)

東京大学大学院物理学専攻博士課程修了後、University of California, San Diego (UCSD)に留学。富士通入社後は、国際情報社会科学研究所、富士通研究所を経て、現在Fujitsu Laboratories of America, Inc., Senoir Vice President & College Park 研究所長。理学博士。人工知能学会理事、日本神経回路学会理事、Neural Network 誌 Acting Editor を歴任。Maryland 大学客員教授を兼務。E-mail: kmatsuo@fla.fujitsu.com

和田 英一 (名誉会員)

1955年東京大学理学部物理学専攻卒業。東京大学工学部、富士通研究所を経てIJJ技術研究所長。プログラム言語、操作システムなどソフトウェアシステムやインタフェースに関心があり、Happy Hacking Keyboard、和田研フォントの開発に関与。IFIP WG2.1、WIDE プロジェクトメンバ、プログラミング・シンポジウム委員長、本会誌編集長。

会員の広場

Member's Voice

今月の会員の広場では、7月号へのご意見・ご感想を紹介いたします。まず、特集「spamメールの現状と対策の動向」については、多くのご感想とご意見をいただきました。

■時宜を得た記事で興味深く読ませていただきました。ただ、全体の印象として論文の数が多すぎるのではないかと感じました。4分類でするのでその程度が少し増やす程度でよかったのではないのでしょうか。特に技術的な側面の論文では分類および内容が少し細かすぎると思われました。大半の読者はプロトコルの詳細に通じているわけではありませので、1つの論文として、最初に導入的な説明を行った後にそれぞれの説明を行ったほうが理解しやすいと思われました。(小野俊彦)

■spamメールの問題の根源はspamメールを送る人が世の中に存在するという点であり、抜本的な対策が見つからなければ、いたちごっこに終止符が打たれない気がします。また、違法立て看板・張り紙などが街からなくならないように、完全に撲滅するのはとても困難なことであるように感じます。本特集で「特定電子メールの送信の適正化等に関する法律」が取り上げられていましたが、まだ十分に対応しきれていないように感じました。個人情報保護法のように社会の関心が向けば、見直しがより素早く進んでいくのではないかと思います。spamメールの現状や問題点、対策といった知識をユーザに知らせることがspamメールへの一番の対策なのではないかと思いました。(片山聡一郎)

■私自身も悩まされている、身近な問題で、大変興味を持って読みました。このようなテーマを取り上げますと読者が増えるかと思えます。安東孝二氏訳の「世界の電子メールをspam制御へ」は、権威のある専門家の最新の最先端の記事・論説として、また後に続く記事の導入として、ありがたく読ませていただきましたが、総論としてはやや難解な感じがいたしました(むしろ最後に読んだ方が理解しやすかったです)。山井成良氏の「電子メールの基礎知識」のような、チュートリアル的な記事を最初に載せていただいた方が、学生や平均的読者には分かりやすく、入りやすいかと思えます。また、景山忠史氏の「spamメールの現状」では、今日の日本で起きていることを数字を挙げて知らされました。早急に何とかしなければならぬという気になり、同時に他の記事からその対策がいかにかに難しいかを知らされました。(竹下 亨)

■企業内ネットワークのシステム管理を任せられ、日々大量のSpamメールを受け取っている身として、今回の特集は非常に役に立つものでした。(船津俊一)

■通信事業者側の対策の記事が興味深かったです。(太田宏佑)

■全編面白く読ませていただいた。分野ごとの対策が上手くまとめられており、問題全体を概観するのに役立った。自分の研究分野と関係する部分もあり、研究意欲をかき立てられたのも良かった。欲を言えば、もう少し、用語の解説をして欲しかった。略号などの意味をいちいち調べなければ分からない記事もあり、若干骨が折れた。(匿名希望)

■今回の特集は技術解説が分かりやすく参考になりました。(匿名希望)

■今回の特集は、バリバリの工学系ではない私にとっても実用的な話題で非常に興味深かったです。(匿名希望)

■spamメールの現状がよくまとまっており大変参考になった。今後もこのような1つのテーマについてさまざまな側面を扱ってくれる記事の充実を望む。(杉山秀則)

■教育機関において、多くの方が自分のメールアドレスを公開していると思います。そのせいで、spamメールの被害を被っている人が多いのではないのでしょうか。今回の特集でspamメールの全体像が見えてきた気がします。(鎌田雅美)

■今回の特集は、本当に日頃接しているだけに、非常に1つ1つ興味深く読むことができた。大量のspamメールを受け取っているが、どこにも申告もせず、対策もしていない人達は数多くいると思う。受信したメールについて、どこにどのような情報を提供すれば、少しでも効果的な対策に貢献できるか、もっと一般に提示してもらえるとうれしい。(匿名希望)

■今回の特集で、皆がいかにかに苦勞しているかが伺えました。利用者の1人としてできることがあるならば、安心できるネット環境への構築に協力したいと思いました。(匿名希望)

■「世界の電子メールをspam制御へ」は、スパムメールの現状やその対処法について包括的によくまとまっていると思いました。ただし、Zombieマシンやそのネットワークの詳細については他の特集でも浅くしか触れられていないようで、情報システムに携わるものとして、その仕組みを知りたく思いました。「ブロッキング、スロットリング」は、スパムメールのブロッキングについて、非常に分かりやすくまとまっていると感じました。詳細まで説明されている具体的なブロッキング方式がとても興味深かったです。「フィルタリング」は、ヒューリスティックフィルタについて、その詳細に非常に興味を持ち、詳細を知りたく思いました。「バウンスメール対策」は、ネームサーバを利用した被害MTAの負荷分散が非常に興味深く、勉強になりました。「ISPにおける対策」は、ISP側からの観点ということで、非常に面白く分かりやすい特集でした。特にISP内のPCがbot化した際やspamメール送信者を対処する際の実状や苦勞は通常では知り得ない内容なので、興味深かったです。「携帯電話における対策」は、携帯電話のキャリアとspamメール送信業者の攻防が詳細にまで記述されており、非常に興味深く面白い内容でした。またその特性上、単純に1つのキャリアで解決される問題でなく、他のキャリアと協力して解決されるということについても、面白く感じました。(平島大志郎)

■タイムリーというよりは遅すぎた感のある特集。でも状況はおおまかに把握できた。spamメールが撲滅される日は来るのだろうか。法制度で厳しい罰則化を求める。(匿名希望)

解説「超小型衛星の時代」につきましては、以下のようなご感想・ご意見をいただきました。

■創価大学内で、創大CubeSatに取り組んでいる学生の姿をよく見ますが、積極的に活動しているその姿に非常に刺激を受けます。やはり物を設計して開発し実現するまでの行程には、学生にとって非常にやりがいを感じるものがあるのだと実感します。

(平島大志郎)

■特に興味を持って読みました。学生にも作る事ができてそれを宇宙へ打上げてもらえるような手作りの衛星が可能とは、驚くべき話でした。さらに、対放射線性を高めるための安価な3重化を、FPGAとかH8マイコン等を使って実現している、というそのアイデアと努力に感服しました。

(岡田昌康)

■非常にタイムリーで興味深く読みました。なかなか日本では本格的に行うことは難しいでしょうが、学生の教育がこのようにリアリティのある形で行われていることが非常に面白く、夢と現実の両方が感じられて、興味深かったです。

(匿名希望)

連載「組込みソフト産業の実態と開発の課題」につきましては、以下のようなご感想・ご意見をいただきました。

■今回で最終回でしたが、組込みソフトウェア産業実態調査報告書で公開されたデータについていろいろと紹介されていて、とても興味深い内容でした。

(片山聡一郎)

■組込みソフトの重要性は何となく感じておりましたが、6回にわたる本連載を読んで、実態の深刻さと強力かつ緊急な対策の必要性がよく分かりました。対策はIPA/SECなどで行われつつあるようですが、容易ではないですね。

(竹下 亨)

■本連載の内容の要約を講義で紹介したところ、学生にたいへん好評であった。

(匿名希望)

連載「Haskell プログラミング」につきましては、以下のご感想・ご意見をいただきました。

■今回はRubicキューブが取り上げられていましたが、最近またよく見かけるようになり、しかも3×3×3のみならず、4×4×4や5×5×5まで売られているので、サイズの大きさに伴って置換がどう変わるのかといったことも取り上げて欲しかったです。(片山聡一郎)

その他の記事に関しては、以下のようなご感想・ご意見をいただきました。

■コラム「20世紀の名著名論」は、毎月興味深く読ませていただいています。ただ、多くの評価が発刊当時の視点に立ってなされていますが、これを一歩進めて、さらに、(1)現在でも読む価値があるか。あるとするとどの場所か。特に他の類書では得られない知識はどこか。(2)どの分野の読者に役に立つか。必要の程度、たとえば必読書、参考書などの分類、という現在の視点からの評価もしていただくと一層、有意義なものになると考えます。(小野俊彦)

■コラム「電子認証いまむかし」では、Ten Risks of PKIが分かりやすくまとめてあり興味深かったです。可能ならばPKIの認証の応用についてもさまざま詳しく知りたく思います。

(平島大志郎)

会誌の内容や今後取り上げて欲しいテーマに関して、以下のご意見やご要望をお寄せいただきました。今後の参考にさせていただきます。

■会社でも、プライバシーマークの取得に向けて日々体制を整えている最中でして、情報セキュリティ対策の分野に興味があります。

(匿名希望)

■高齢者に優しい情報社会。

(片山聡一郎)

■一般的になりつつある「インテリジェントハブ」や「ギガビットハブ」を用いたローカルネットワークに関する記事を読みたいです。

(船津俊一)

■最近の国際間通信ネットワークがどうなっているか知りたい。

(阿達健太)

■コラム「佐賀のIT戦略は教育から」でもありましたが、国内におけるIT教育の現状について特集をお願いします。

(匿名希望)

■医療情報技術についての動向、教育の取り組み。

(匿名希望)

■IETFでのホットな話題などあれば、取り上げてほしい。(匿名希望)

【本欄担当 望月 源、濱 利行/書評・ニュース分野】

今月はこのほかにも数多くのご意見・ご感想をいただきましたが、スペースの都合上すべてを掲載することができませんでした。これらのコメントはWeb版会員の広場「読者からの声」<URL: <http://www.ipsj.or.jp/07editj/dokusha/dokusha.html>>に掲載していますので、そちらもご参照ください。会誌や掲載記事に関するご意見・ご感想は学会Webページでも受け付けております。今後もよりよい会誌を作るため、ぜひ皆様のお声をお寄せください。

ご意見をお寄せください!!

皆様にとって会誌をより役立つものとするため、自由なご意見、ご感想をお待ちしております。

- ・記事に対する感想、意見
- ・記事テーマの提案
- ・会誌または学会に対する全般的な意見、提言
- ・その他、情報処理技術についての全般的な意見、提言

など自由なご意見、ご感想をお待ちしております。

なお、「道しるべ」については <URL: <http://www.ipsj.or.jp/07editj/toukou/michishirube/michishirube.html>> でこれからのテーマ案を募集しており、いただいたご意見をまとめております。

※ご意見、ご感想を会誌に掲載させていただいた方には薄謝または記念品を進呈いたします。

掲載に際しては、編集の都合上、ご意見に手を加えさせていただくことがありますので、あらかじめご了承ください。なお、意見の投稿に伴う、住所、氏名、所属などの個人情報については、学会のプライバシーポリシーに準じて取り扱いいたします。<URL: <http://www.ipsj.or.jp/somu/privacypolicy.html>>

応募先 〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台1-5 化学会館4F
情報処理学会 会誌編集部門 E-mail: editj@ipsj.or.jp Fax: (03)3518-8375
<http://www.ipsj.or.jp/02moshikomi/enq/enq4610.html>

皆様からいただいた会誌へのご意見は下記Webページにも掲載しております。

<URL: <http://www.ipsj.or.jp/07editj/dokusha/dokusha.html>> (読者からの声)



IPSJ カレンダー

開催日	名称	論文等応募締切日	参加締切日	開催地
	論文誌「ユビキタス社会を支えるコンピュータセキュリティ技術」特集への論文投稿 http://www.ipsj.or.jp/08editt/journal/tokushu/06-j.html	11月25日(金)		
	平成17年度情報処理学会フェロー候補者推薦募集 http://www.ipsj.or.jp/03somu/fellow/index.html	11月4日(金)		
2005年				
10月17日(月)	～ 組込みソフトウェアシンポジウム2005 (ESS2005) http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2005/S-ESS2005.html	7月15日(金)	10月5日(水)	日本科学未来館
10月19日(水)	～ 第121回システムLSI設計技術研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2005/SLDM121.html	8月19日(金)	当日のみ	仙台作並温泉
10月20日(木)	～ 第58回音声言語情報処理研究会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2005/SLP58.html	8月19日(金)	当日のみ	早稲田大学
10月21日(金)	第81回コンピュータと教育研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2005/CE81.html	8月29日(月)	当日のみ	大阪学院大学
10月22日(土)	～ コンピュータセキュリティシンポジウム2005 http://css2005.toshiba-sol.co.jp/	8月23日(火)	10月20日(木) 早期割引締切9月22日(木)	メルパルク松山
10月28日(金)	東海支部講演会「10年目を迎えるロボカップ」開催案内 http://www.meijo-u.ac.jp/access.html		参加無料	名城大学天白キャンパス(名古屋市)
10月28日(金)	第17回高品質インターネット研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2005/QAI17.html	8月18日(木)	当日のみ	東京大学本郷キャンパス
10月28日(金)	第68回人文科学とコンピュータ研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2005/CH68.html	8月22日(月)	当日のみ	高岡市万葉歴史館
11月1日(火)	～ 第9回ユビキタスコンピューティングシステム研究発表会 http://www.mkg.sfc.keio.ac.jp/UBI/seminar-9.html	9月20日(火)	当日のみ	静岡大学情報学部
11月2日(水)	第81回情報学基礎研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2005/FI81.html	9月2日(金)	当日のみ	筑波大学筑波キャンパス
11月7日(月)	～ 第141回知能と複雑系研究発表会 http://www.mm.media.kyoto-u.ac.jp/members/kakusho/HAI2005.htm	9月7日(水)	当日のみ	箱根ホテル小涌園
11月9日(水)	～ グループウェアとネットワークサービスワークショップ2005 http://inolab.slis.tsukuba.ac.jp/gnws05/index.html		事前登録締切 10月9日(日)	水上館(群馬県水上温泉郷)
11月10日(木)	～ 第103回アルゴリズム研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2005/AL103.html	9月11日(日)	当日のみ	山口大学
11月14日(月)	～ 第125回マルチメディア通信と分散処理研究会(DPS), 第29回電子化知的財産・社会基盤研究会(EIP) http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2005/DPS125EIP29.html	9月9日(金)	当日のみ	東京電機大学(神田キャンパス)
11月15日(火)	第15回システム評価研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2005/EVA15.html	9月22日(木)	当日のみ	京都大学学術情報メディアセンター
11月17日(木)	～ 第151回コンピュータビジョンとイメージメディア研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2005/CVIM151.html	8月31日(水)	当日のみ	和歌山大学生涯学習教育研究センター(松下会館)
11月17日(木)	～ 第35回モバイルコンピューティングとユビキタス通信・ 第23回高度交通システム・第12回放送コンピューティング 研究グループ合同研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2005/MBL35ITS23.html	9月9日(金)	当日のみ	香川大学幸町キャンパス
11月18日(金)	～ 第116回ヒューマンインタフェース研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2005/HI116.html	9月16日(金)	当日のみ	高知グリーン会館
11月18日(金)	第94回情報システムと社会環境研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2005/IS94.html	8月26日(金)	当日のみ	鳥取環境大学学生センター
11月18日(金)	第121回グラフィクスとCAD研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2005/CG121.html	9月23日(金)	当日のみ	立命館大学
11月18日(金)	～ 第10回ゲームプログラミングワークショップ2005 (GPW-05) http://minerva.cs.uec.ac.jp/~ta-ito/GPW05/top.htm	7月20日(水)	11月5日(土)	箱根セミナーハウス
11月20日(日)	～ 第170回自然言語処理研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2005/NL170.html	8月31日(水)	当日のみ	岡山大学
11月21日(月)	～ データベースとWeb情報システムに関するシンポジウム (DBWeb2005) http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2005/DBWeb2005.html	9月9日(金)		日本科学未来館
11月25日(金)	デジタル・ドキュメント・シンポジウム2005-ユビキタス社会 におけるデジタルドキュメントの役割と展望- http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2005/S-DD2005.html		11月18日(金) 当日可	トッパンフォームズ(株)
11月25日(金)	連続セミナー 2005 第5回 「組み込みソフト開発事例(組み込みOS系)」 http://www.ipsj.or.jp/10jigyo/seminar/2005/index.html		定員になり次第	東京電機大学 神田キャンパス7号館 1F丹羽ホール
11月28日(月)	連続セミナー 2005 第6回 「組み込みソフト開発事例(ユビキタス系)」 http://www.ipsj.or.jp/10jigyo/seminar/2005/index.html		定員になり次第	東京電機大学 神田キャンパス7号館 1F丹羽ホール
11月29日(火)	第150回ソフトウェア工学研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2005/SE150.html	9月30日(金)	当日のみ	化学会館会議室(御茶ノ水)
11月29日(火)	～ コンピュータシステム・シンポジウム http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2005/ComSys2005.html	7月22日(金)	定員になり次第	筑波大学
11月30日(水)	～ 第157回計算機アーキテクチャ研究発表会(デザインガイア2005) http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2005/ARC157.html	9月20日(火)	当日のみ	北九州国際会議場
12月1日(木)	～ 分散システム/インターネット運用技術シンポジウム2005 http://www.musashi.jp/dsm10/	9月1日(木)		武蔵大学 80周年記念ホール
12月2日(金)	第31回コンピュータセキュリティ研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2005/CSEC31.html	10月10日(月)	当日のみ	中央大学後楽園キャンパス
12月9日(金)	第82回コンピュータと教育研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2005/CE82.html	10月24日(月)	当日のみ	鹿児島大学学術情報基盤センター
12月10日(土)	～ 人文科学とコンピュータシンポジウム「じんもんこん2005」 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2005/S-CH2005.html	9月16日(金)	定員になり次第	東京大学本郷キャンパス
12月17日(土)	第3回バイオ情報学研究会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2005/BIO3.html	10月21日(金)	当日のみ	東京大学医科学研究所

開催日	名 称	論文等応募締切日	参加締切日	開催地
2006年				
1月16日(月)～	第57回プログラミング研究発表会	11月16日(水)	当日のみ	産業技術総合研究所
1月17日(火)	http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2005/PRO57.html			
1月20日(金)	第18回高品質インターネット研究発表会	11月4日(金)	当日のみ	仙台国際センター
	http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2005/QAI18.html			
1月23日(月)～	2006 インターネット応用国際会議 (SAINT2006)	7月1日(金)		アメリカ
1月27日(金)	http://www.saintconference.org/			(アリゾナ州フェニックス)
1月24日(火)	第158回計算機アーキテクチャ研究発表会 (SHINING 2006)	11月14日(月)	当日のみ	早稲田大学理工学部
	http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2005/ARC158.html			
1月24日(火)～	Asia and south Pacific Design Automation Conference 2006			パシフィコ横浜
1月27日(金)	(ASP-DAC2006)			
	http://www.aspdac.com/aspdac2006/			
1月26日(木)～	第138回データベースシステム・第58回グループウェアと	11月25日(金)	当日のみ	吾妻屋シーサイド
1月27日(金)	ネットワークサービス・第13回放送コンピューティング研究			ホテル (和歌山県加太
	グループ合同研究発表会			温泉)
	http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2005/DBS138GN58.html			
2月9日(木)～	第4回バイオ情報学研究会	12月28日(水)	当日のみ	北海道大学高等教育機
2月10日(金)	http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2005/BIO4.html			能開発総合センター
3月7日(火)	日本のコンピュータ生誕50周年記念シンポジウム			工学院大学
	(記念シンポジウム)			新宿キャンパス
	http://www.ipsj.or.jp/10jigyo/taikai/68kai/50sympo/			
3月7日(火)～	日本のコンピュータ生誕50周年記念シンポジウム			工学院大学
3月9日(木)	(記念展示会)			新宿キャンパス
	http://www.ipsj.or.jp/10jigyo/taikai/68kai/50sympo/			
3月7日(火)～	第68回全国大会 (学会創立45周年記念大会)			工学院大学
3月10日(金)	http://www.ipsj.or.jp/10jigyo/taikai/68kai/			新宿キャンパス
3月13日(月)～	第2回ネットワーク生態学シンポジウム	12月3日(土)	2月20日(月)	関西学院大学
3月14日(火)	http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2005/NE0603.html			
5月9日(火)～	7th International Conference on Mobile Data Management (MDM2006)			奈良新公会堂
5月12日(金)	http://www.mdm2006.kddilabs.jp/			
7月13日(木)～	2nd International Conference on Collaboration Technologies			筑波大学
7月14日(金)	(CollabTech 2006)			
	http://www.collabtech.org/			
9月5日(火)～	FIT2006 第5回情報科学技術フォーラム			福岡大学
9月7日(木)				
10月11日(水)～	The 3rd International Conference on Mobile Computing			イギリス
10月13日(金)	and Ubiquitous Networking (ICMU2006)			(ロンドン大学)
	http://www.icmu.org/icmu2006			
10月23日(月)～	International Workshop on Security (IWSEC2006)			京都
10月24日(火)	http://www.iwsec.org/			

Web ページ (<http://www.ipsj.or.jp/>) 更新情報

[トピックス]

- 9月20日 IT Text シリーズ「分散処理」新刊のお知らせ
- 9月15日 第68回全国大会講演申込 受付開始しました
- 9月15日 人材募集情報(9月)更新しました

[学会からのお知らせ]

- 9月16日 論文誌(ジャーナル)の論文査読状況を更新しました

遠方から会議に出席する方々からの要望により、情報処理学会でもテレビ会議システムを導入いたしました。導入にあたって、事務局会議室はもちろんのこと、事務局以外の化学会館会議室で利用できるかどうかが課題でした。化学会館の工事もコスト面を考えると難しく、4Fの事務局から無線LANで上階会議室と通信してはどうかと考えました。しかしながら1回目のテストではまったく通話できる状態ではありませんでした。電波が弱すぎたためです。2回目のテストでは、業者さんが大きな指向性アンテナを持ち込んできました。このアンテナのおかげで、格段に通信状態が良くなり、なんとか通常の会話ができることが確認できました。

当会で導入したシステムは、ユーザ側も端末を持っていないと利用できません。下手をすると導入したはいいが、誰も利用

しないといった事態も危惧していたのですが、思った以上に端末をお持ちの方が多く、また、新規に導入する方もいて、なんとか高価な置物になることだけは避けられそうです。テレビ会議のテストは、業者さんや会員のボランティアにより何度か行いましたが、最初はすごく緊張しました。明治時代を描いたドラマなどで、写真機の前で緊張する人たちのシーンを見たことがあります。あの人たちの気持ちが理解できたような気がします。

ところで、テレビ会議のテストで、業者さん側で対応するのは、いつも若い女性でした。各ユーザの反応を見ると概ね好評のようで、テレビ会議システムの売上に、実はこの女性が絶大な貢献をしているのではないかと考えたりもしました。

(岩瀬良夫/管理部門)



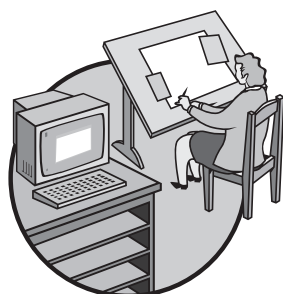
■ 各種問合せ先 ■

(社) 情報処理学会 (本部) ※支部所在地等詳細はリンクされている各支部ページでご参照ください。

〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台 1-5 化学会館 4F Fax(03)3518-8375 <http://www.ipsj.or.jp/>

担当	E-mail	Tel (ダイヤルイン)	取り扱い内容
■ 会員サービス部門			
会員	mem@ipsj.or.jp	03-3518-8370	入会、会費、変更連絡、退会、在会証明、会員証、会費等口座振替、海外からの送金
■ 会誌編集部門			
会誌編集	editj@ipsj.or.jp	03-3518-8371	会誌「情報処理」の掲載内容、広告掲載、転載許可、出版、著作権
■ 研究部門			
論文誌	editt@ipsj.or.jp	03-3518-8372	論文誌 (ジャーナル) の編集・査読
調査研究/教育	sig@ipsj.or.jp		研究会登録、研究発表会、シンポジウム、研究グループ、論文誌 (トランザクション)
■ 事業部門			
事業	jigyo@ipsj.or.jp	03-3518-8373	全国大会、FIT、連続セミナー、プログラミング・シンポジウム
国際	intl@ipsj.or.jp		国際会議、IFIP 委員会
■ 管理部門			
総務	somu@ipsj.or.jp	03-3518-8374	理事会、支部、役員選挙、名誉会員
経理	keiri@ipsj.or.jp		出納、送金連絡
システム企画	sys@ipsj.or.jp		システム企画、電子化委員会、電子図書館、IPSJ メールニュース
図書	tosho@ipsj.or.jp		出版物購入
■ 情報規格調査会			
規格部	standards@itscj.ipsj.or.jp		標準化フォーラム 〒105-0011 東京都港区芝公園 3-5-8 機械振興会館 308-3 Tel (03)3431-2808 Fax (03)3431-6493 http://www.itscj.ipsj.or.jp/

会誌「情報処理」47巻表紙デザイン募集!!



会誌編集委員会

会誌編集委員会では、読者の方々にとってより親しみやすく、また商業誌では得られない知識の習得に役立つ雑誌を目指し、日々努力しております。

つきましては、来年の表紙デザインを広く募集いたします。奮ってご応募ください。採用された方には賞金を贈呈いたします。

- 応募条件
- ・表紙のデザイン（裏表紙、背表紙は含まず）。
 - ・A4判（天地297mm×左右210mm）4色フルカラー。
 - ・描画手法は問いません。
 - ・「情報処理」の題字、巻号、法定文字、記事タイトル等必要項目は現会誌をご覧ください。
 - ・応募資格は問いません。
 - ・詳細は会誌編集部門までお問い合わせください。

- 注意事項
- ・応募作品は希望がないかぎり返却しません。
 - ・採用作品の掲載にあたって、学会側で多少の変更をさせていただく場合があります。
 - ・採用作品の著作権（著作権法第27条、第28条の権利を含む）は（社）情報処理学会に帰属します。
 - ・応募作品は未発表のものに限ります（応募作品の知的財産権について、第三者との間に紛争が生じた場合は、作者がその責を負う）。
 - ・応募される場合は、上記注意事項に同意されたものとみなします。

応募締切 平成17年11月1日（火）（必着）

結果通知 平成17年12月下旬

賞金 採用者1名に5万円

送付先/照会先 （社）情報処理学会 会誌編集部門
〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台1-5 化学会館4F
E-mail: editj@ipsj.or.jp Tel.03-3518-8371 Fax.03-3518-8375

会 員 各 位

過去に発行された当会会員名簿は「会員相互間の連絡や情報交換」を目的としています。

最近この目的をはずれ、「広告、諸勧誘、商取引等の営利活動に不正に利用される」方がおられますが、このような行為は厳重に謹んでください。名簿を廃却される場合にも、再利用されることのないようご注意願います。

また、上記不正利用にあてはまらない場合でも、受け取った相手が不愉快な思いをされないよう、節度を持った利用をお願いいたします。

当会では、現在会員名簿を発行しておりません。

人材募集 (有料会告)



申込方法: 任意の用紙に件名、申込者氏名、勤務先、職名、住所、電話番号および請求書宛先、Web掲載の有無などを記載し、掲載希望原稿〔募集職種、募集人員、(所属)、専門分野、(担当科目)、応募資格、着任時期、提出書類、応募締切、送付先、照会先〕を添えて下記の申込先へE-mail、Faxまたは郵送にてお申し込みください。
*都合により編集させていただく場合がありますので、ご了承ください。

申込期限: 毎月15日を締切日とし翌月号(15日発行)に掲載します。

掲載料金: 国公立教育機関、国公立研究機関 21,000円(税込)
賛助会員(企業) 31,500円(〃)
賛助会員以外の企業 52,500円(〃)
*本会誌へ掲載依頼いただいた場合に限り、追加料金4,000円で同一内容を本会Webページに掲載できます。

申込先: 情報処理学会 会誌編集部門(有料会告係) E-mail:editj@ipsj.or.jp Fax(03)3518-8375
*原稿受付の際には必ず原稿受領のお知らせを差し上げています。もし返信がない場合は念のため確認のご連絡をください。

*特に指定がないかぎり履歴書には写真を貼付のこと

■金沢大学総合メディア基盤センター

募集人員 教授 1名
専門分野 情報ネットワーク・情報セキュリティ(デジタル通信、ワイヤレス通信、ネットワークシステム設計、ネットワークプログラミング、Web、ネットワークセキュリティなど)
担当科目 金沢大学総合メディア基盤センター情報基盤部門が担当する業務、教養的科目の授業、および専門分野における研究
応募資格 専門分野において優れた研究業績・実務経験があり、博士の学位(着任時までに取得見込みも可)を有し、情報基盤の業務に熱意を持ち、教養的科目中の情報系科目を担当可能で、応募時の年齢が55歳未満である方
着任時期 平成18年4月1日までのできるだけ早い時期
提出書類 履歴書(取得学位・所属学会・E-mailアドレスもあれば記入)、業績リスト、主要業績(5点、別刷またはコピーでも可、調査報告もしくは調査に基づく研究業績を含めても構わない)およびそれぞれの概要(各400字程度)、着任後の研究および教育に対する抱負(情報ネットワーク・情報セキュリティについての研究・調査の経験に関する記述を必ず含むこと(1200字程度))、推薦書2通または意見を求めることのできる方2名の氏名・所属・連絡先(電話番号、E-mailアドレスを含むこと)
応募締切 平成17年10月31日(当日消印有効)
送付先/照会先 〒920-1192 石川県金沢市角間町 金沢大学総合メディア基盤センター 審査委員長 岩原正吉
E-mail:iwahara@ec.t.kanazawa-u.ac.jp Tel(076)234-6910(代表) (お問合せはなるべくE-mailをご利用ください)
「公募書類」と朱書き書留か宅配便 *応募書類の返送を希望される方は、切手を貼った返信用封筒を同封してください
その他 組織の詳細はWebページ(<http://www.gipc.kanazawa-u.ac.jp/>)を参照ください

■京都大学大学院情報学研究科システム科学専攻

募集人員 教授 1名
所属 システム情報論講座
応募資格 博士の学位を有し、システム科学・システム工学の観点を踏まえつつ広く情報の可視化・表現とその活用に関する分野の研究において顕著な業績を上げ、当該研究分野において深い思考力と高い問題解決能力のある人材育成ができる方。また、工学部電気電子工学科の学部教育(講義、実験、演習)が担当できる方
着任時期 平成18年4月1日以降のなるべく早い時期
提出書類 次の書類各2部:履歴書、研究業績リスト(著書・雑誌掲載論文・国際会議論文・解説などに区別すること)、主要原著論文別刷(5編以内、コピー可)、最も重要な研究論文(3編)の概要(計3000字以内)、その他の特記すべき事項(2000字以内)、研究・教育に関する抱負および計画(2000字以内)
応募締切 平成17年11月4日(必着)
送付先/照会先 〒606-8501 京都府京都市左京区吉田本町 京都大学大学院情報学研究科システム科学専攻 酒井英昭
E-mail:hsakai@i.kyoto-u.ac.jp Tel(075)753-5492 Fax(075)753-4755 「応募書類在中」と朱書き簡易書留
*応募書類は返却いたしません
その他 システム科学専攻についてはWebページ(<http://www.i.kyoto-u.ac.jp/~sys/>)を参照ください

■福岡教育大学情報処理センター

- 募集人員 助手 1名
 専門分野 情報教育またはネットワークに関する分野
 応募資格 次のいずれの条件にも該当する方：大学院修士課程を修了した方またはこれに準じる方、昭和55年4月1日以降に生まれた方、電子計算機システムおよびネットワークシステムの管理・運用が主たる業務となるため、この2つのシステムの管理・運用に意欲を有する方、情報教育またはネットワークに関する研究業績を有する方、学校教育における情報システムの活用に関心がある方、将来、情報教育関係の授業を担当できる方
 着任時期 平成18年4月1日
 提出書類 個人調書・教育研究業績書（本学所定の様式による）、著書・論文の別刷および学会発表プログラム（コピー可）、最終学歴証明書、本人の研究業績・活動についてよく知っている方の推薦書、大学における教育用ネットワークシステムの管理・運用について考えること（2000字以内）、学校教育における情報システムの活用に関する抱負（2000字以内）
 応募締切 平成17年11月21日（必着）
 送付先 〒811-4192 国立大学法人福岡教育大学長 「情報処理センター教員公募」と朱書き郵送の場合は書留
 照会先 【事務手続きなどの問合せおよび公募書類請求先】 人事課 Tel(0940)35-1545
 【具体的内容などについての問合せ先】 情報処理センター 大後忠志 E-mail:center-cho@fukuoka-edu.ac.jp
 その他 【選考方法】書類選考の後、若干名にしばった段階で面接を行います（旅費等は自己負担）
 【退職手当】国、特定独立行政法人、地方公共団体または国家公務員退職手当法に定める公庫などを退職後引き続いて本学に採用される場合は、退職手当の算定の基礎となる在職期間は通算されません。法人化前の取り扱いとは異なりますのでご注意ください。なお、他の国立大学法人または独立行政法人国立高等専門学校機構などを退職後引き続いて本学に採用される場合は、現所属機関に同様の定めがある場合に限り、従来どおり通算されます

■東京工科大学メディア学部

- 募集人員 教授または助教授 2名
 専門分野 (A)ネットワークセキュリティ・システムセキュリティ関係 1名 (B)デザインおよびユーザインタフェース関係 1名
 担当科目 学部および大学院の関連科目。ただし、卒業研究、演習は担当していただき、大学院の研究指導、その他授業科目は相談のうえ担当いただきます
 応募資格 博士の学位を有するか、それに相当する見識を有する方。着任年度の4月1日現在で原則50歳以下
 着任時期 原則として平成18年4月1日。ただし、採用予定候補者の都合により平成19年4月1日を限度に着任を延期することがある
 提出書類 履歴書、業績リスト、主要論文・業績の内容を示すもの
 応募締切 平成17年11月25日（必着）
 送付先/照会先 〒192-0982 東京都八王子市片倉町1404-1 東京工科大学人事委員会事務局（担当：業務課 大和佳介）
 E-mail:yamato@so.teu.ac.jp Tel(0426)37-2111 (ext.2021)
 その他 Webページ (<http://www.teu.ac.jp/10/003887.html>)を参照ください

■東京電機大学理工学部情報科学科

- 募集人員 嘱託講師（任期付き）2名
 専門分野 情報科学全般
 応募資格 博士の学位を有し（または着任時までに博士の学位を取得見込みであり）、専門分野において優れた研究業績があり、学部の教育に熱意を持たれる方。年齢は着任時満40歳以下の方が望ましい
 着任時期 平成18年4月1日
 任期 1年ごとの契約更新で最長3年まで
 提出書類 履歴書、研究業績リスト（審査付き雑誌論文・審査付き国際会議論文・著書・解説・その他の研究発表・特許などに分類したもの）、主要論文別刷（5編程度、コピー可、各1部）、これまでの研究経過と着任後の研究計画（A4用紙1枚程度）、教育研究についての抱負（A4用紙1枚程度）、推薦書1通
 応募締切 平成17年11月25日（必着）
 送付先/照会先 〒350-0394 埼玉県比企郡鳩山町石坂 東京電機大学理工学部 情報科学科長 勝野裕文
 E-mail:katsuno@j.dendai.ac.jp Tel(049)296-2911 Fax(049)296-6403（お問合せはなるべくE-mailをご利用ください）
 「教員応募書類在中」と朱書き簡易書留か宅配便
 その他 応募詳細・担当科目などについてはWebページ (<http://www.j.dendai.ac.jp/koubo/>)を参照ください

■北海道大学大学院情報科学研究科システム情報科学専攻

募集人員	助教授 1名
所 属	システム融合情報学講座
専門分野	大規模電気エネルギーシステムに対して、パワーエレクトロニクスなどを応用した電気エネルギー変換・制御・利用技術、ならびにシステム全体として計画・運用・解析・制御を行うためのシステム技術に関する研究分野
担当科目	研究科では、システム統合学特論、システム情報科学特別演習、システム情報科学特別研究第一・第二。学部では、エレクトリックマシンシステム、パワーエレクトロニクス、システムデザイン、システム情報実験・演習などの分担
応募資格	博士の学位を有し、研究および教育に積極的であり、学生の指導に熱意のある健康な方
着任時期	平成18年3月1日以降のできるだけ早い時期
提出書類	履歴書(本籍・現住所・連絡先(電話番号・E-mailアドレス)、学歴(高等学校卒業以降)、職歴、学位、所属学会、賞罰を記入)、業績リスト(査読付き論文・その他の論文・国際会議など発表論文・著書・総説・解説に分類して記載、受賞、学会活動、従事した研究プロジェクト(科学研究費を含む)、その他の社会貢献などに区分して記載)、科学研究費補助金などの外部資金獲得状況など
応募締切	平成17年11月28日(必着)
送 付 先	〒060-8628 北海道札幌市北区北13条西8 北海道大学大学院工学研究科・情報科学研究科・工学部総務課人事係 Tel(011)706-6156 郵送の場合は「システム融合情報学講座教員応募書類(No.17-24)」と朱書き書留 *応募書類は原則として返却いたしません
照 会 先	情報科学研究科システム情報科学専攻システム創成情報学講座 金子俊一 E-mail:kaneko@ssi.ist.hokudai.ac.jp Tel/Fax(011)706-6755
そ の 他	詳細はWebページ(http://www.ist.hokudai.ac.jp/job/)を参照してください

■北海道大学大学院情報科学研究科複合情報学専攻

募集人員	教授 1名
専門分野	複雑系工学に関する専門分野、特に自律系工学に関する分野
応募資格	博士の学位を有し、教育および研究に熱意を持ち、この分野の顕著な研究業績を有し、産学官連携に積極的で国際的視野を持つ方、年齢は55歳以下が望ましい
着任時期	平成18年3月1日以降のできるだけ早い時期
提出書類	履歴書(本籍または国籍・現住所・連絡先(電話番号・E-mailアドレス)・学歴(高校卒業以降)・職歴・学位・賞罰・日付・自筆署名・押印)、学会活動歴(国内外所属学会(活動状況)・受賞歴)、業績リスト(査読付き論文・その他の論文・国際学会講演論文・著書・総説)・特許・研究成果の産業応用実績・産学官連携実績・地域社会貢献実績・国際学会貢献実績に区分して記載、現在までの研究歴と研究業績の概要(2000字以内)・主要論文別刷(5編,コピー可,各3部)、将来の教育と研究に対する展望と抱負(2000字以内)、今後の大学のあり方に関する所見(2000字以内)、応募者について意見を伺える方2名(氏名・身分・所属・E-mailアドレス・電話番号・Fax番号)
応募締切	平成17年11月28日(必着) *期限厳守
送 付 先	〒060-8628 北海道札幌市北区北13条西8 北海道大学工学研究科・情報科学研究科・工学部総務課人事係 Tel(011)706-6156
照 会 先	大学院情報科学研究科複合情報学専攻複雑系工学講座 大内 東 E-mail:ohuchi@complex.eng.hokudai.ac.jp Tel(011)706-6495 Fax(011)706-7834

■岩手県立大学ソフトウェア情報学部およびソフトウェア情報学研究科

募集人員	教授または助教授 1名
所 属	基盤ソフトウェア学講座
専門分野	基盤ソフトウェア(OS、ユビキタスコンピューティング、分散処理など)の教育研究
担当科目	学部:オペレーティングシステム論、基盤システム設計論のいずれかの担当および科学と倫理、開発と環境から数科目および基盤システムに関する演習などを担当できることが望ましい 大学院:情報システム評価特論、情報システム基礎総論、基盤構築特論から数科目担当できることが望ましい
応募資格	基盤ソフトウェアの領域に精通し、これらの分野で十分実績があり、博士号を有する方。教育と研究に熱意があり、着任後ただちに授業および演習などを担当できる方。他の大学、学部学科、大学院などの文部科学省への設置認可申請にあたり、専任教員として任用が予定されていない方。年齢は55歳未満の方が望ましい
着任時期	平成18年4月1日
提出書類	履歴書(学歴、職歴、学会活動、受賞歴などを含む)、研究業績リスト(著書、学位論文、学術雑誌論文、国際会議論文などに分類)、主要論文別刷(コピー可)と学位取得証明書、これまでの研究概要とこれからの研究教育に対する抱負(2000字程度)、参考となる意見を伺える方2名の推薦書と連絡先
応募締切	平成17年11月30日(必着)
送付先/照会先	〒020-0193 岩手県滝沢村菓子152-52 岩手県立大学ソフトウェア情報学 学部長 曾我正和 E-mail:softjimu@ml.iwate-pu.ac.jp Tel(019)694-2500(ダイヤルイン) 「基盤ソフトウェア学講座教員応募書類在中」と朱書き簡易書留 *応募書類は返却いたしません
そ の 他	【給与等】給与は本給のほか、扶養手当・通勤手当・期末手当・寒冷地手当など所定の諸手当が支給される。入居可能な職員用宿舎(勤務地まで車で15分)有り 【選考方法】選考にあたっては書類・業績審査および面接を実施します

■岩手県立大学ソフトウェア情報学部およびソフトウェア情報学研究所

募集人員 教授 1名
所 属 基盤システム領域分野
専門分野 基盤システム領域に属する専門分野（リアルタイムシステム、コンピュータアーキテクチャ、高信頼性システム、並列システム、組み込みシステムのいずれかの分野）
担当科目 学部・大学院での基盤システムコース関連科目、専門分野関連科目、ならびに修論・博論指導
応募資格 博士の学位を有し、大学院の博士課程の研究教育指導が担当でき、情熱を持って教育・研究・学生指導にあたる方
着任時期 平成18年4月1日
提出書類 履歴書（学歴、職歴、学会活動、受賞歴などを含む）、研究業績リスト（著書、学位論文、学術雑誌論文、国際会議論文などに分類）、学位論文（コピー可）と学位取得証明書、主要著書・学術論文別刷（コピー可）、教育に関する業績および教育に関する見解（1000字程度）、参考となる意見を伺える方2名の氏名と連絡先
応募締切 平成17年11月30日（17:00必着）
送 付 先 〒020-0193 岩手県滝沢村菓子152-52 岩手県立大学ソフトウェア情報学部 学部長 曾我正和
「リアルタイムシステム学講座教授募集書類在中」と朱書し簡易書留 *応募書類は返却いたしません
照 会 先 ソフトウェア情報学部事務室 E-mail:softjimu@ml.iwate-pu.ac.jp Tel(019)694-2500（ダイヤルイン）
そ の 他 【選考方法】選考にあたっては書類・業績審査および面接を実施します。選考結果は応募者本人に通知します

■岩手県立大学ソフトウェア情報学部およびソフトウェア情報学研究所

募集人員 教授または助教授 1名
所 属 社会情報システム学講座
専門分野 社会情報システム学に関する分野
担当科目 学部・大学院での応用情報システム学、社会情報システムなど社会情報システム学関連科目、ならびに修論・博論指導
応募資格 博士の学位を有し、大学院博士課程の研究教育指導が担当でき、情熱を持って教育・研究・学生指導にあたる方
着任時期 平成18年4月1日
提出書類 履歴書（学歴、職歴、学会活動、受賞歴などを含む）、研究業績リスト（著書、学位論文、学術雑誌論文、国際会議論文などに分類）、学位論文（コピー可）、主要著書・学術論文別刷（コピー可）と学位取得証明書、教育に関する業績および教育に関する見解（1000字程度）、参考となる意見を伺える方2名からの推薦書
応募締切 平成17年11月30日（17:00必着）
送 付 先 〒020-0193 岩手県滝沢村菓子152-52 岩手県立大学ソフトウェア情報学部 学部長 曾我正和
「社会情報システム学講座教授募集書類在中」と朱書し簡易書留 *応募書類は返却いたしません
照 会 先 ソフトウェア情報学部事務室 E-mail:softjimu@ml.iwate-pu.ac.jp Tel(019)694-2500（ダイヤルイン）
そ の 他 【選考方法】選考にあたっては書類・業績審査および面接を実施します。選考結果は応募者本人に通知します

■埼玉大学大学院理工学研究科情報数理学専攻

募集人員 助教授（または講師） 1名
専門分野 情報システム工学関連分野
担当科目 情報システム工学に関する基礎科目および専門科目
応募資格 博士の学位を有し、大学院の研究を指導できる教育に熱意のある方
着任時期 平成18年10月1日以前のなるべく早い時期
提出書類 扉書（氏名、所属、連絡先住所、電話番号、E-mailアドレスを明記のこと）、履歴書、業績リスト、代表的論文5編の別刷（業績リストから5編、コピー可）、主要研究業績概要（業績リストと対応させてください）、今後の教育・研究計画、推薦書2通、本人について問合せのできる方2名の氏名と連絡先
応募締切 平成17年11月30日
送付先/照会先 〒338-8570 埼玉県さいたま市桜区下大久保255 埼玉大学工学部情報システム工学科 学科長 吉田紀彦
E-mail:yoshida@ics.saitama-u.ac.jp 「教員応募書類」と朱書し書留 *応募書類は返却いたしません
そ の 他 書類書式など詳細はWebページ（<http://www.ics.saitama-u.ac.jp/boshu/>）を参照ください
書類選考の後、必要に応じて面接を行います

■筑波大学計算科学研究センター

募集人員 助教授または講師 1名
 専門分野 高性能コンピューティングシステム分野
 職務 計算科学研究センター超高速計算システム研究部門において、高性能コンピューティングシステムの研究開発を担当。大学院システム情報工学研究科コンピュータサイエンス専攻における研究・教育、および情報学類(学部に相当)における教育を担当
 応募資格 博士の学位を有し、専門分野において優れた研究業績があり、教育および研究指導能力を有する方
 着任時期 決定後できる限り早い時期
 提出書類 履歴書(連絡先とE-mailアドレスを明記)、研究業績リスト(学術論文、国際会議論文、著書、特許などのリスト、所属学会の活動歴、社会貢献実績、教育実績、受賞歴。なお、共著者はすべて記入のこと)、主要論文別刷(5編以内、コピー可)、これまでの研究経過と着任後の研究計画、研究・教育に対する抱負(2000字以内)、参考意見を伺える方(3名)の氏名・所属・連絡先
 応募締切 平成17年11月30日(必着)
 送付先 〒305-8577 茨城県つくば市天王台1-1-1 筑波大学 計算科学研究センター長 宇川 彰
 「超高速計算システム研究分野応募書類」と朱書き書留か宅配便
 照会先 計算科学研究センター 超高速計算システム研究部門長 佐藤三久 E-mail:msato@cs.tsukuba.ac.jp Tel(029)853-5532
 (お問合せはなるべくE-mailをご利用ください)
 その他 詳細はWebページ(<http://www.ccs.tsukuba.ac.jp/>)の公募情報を参照ください

■北陸先端科学技術大学院大学(JAIST)知識科学研究科知識システム基礎学専攻

募集人員 教授 1名【任期】10年(再任あり)
 所属 遺伝子知識システム論講座
 専門分野 大規模データベースあるいは分散データベースに関する研究。特に、遺伝子アルゴリズムの新たな展開を目指す遺伝子知識システムの構築、それに基づく知能や感性、進化のメカニズムの基本原理の究明に関する教育・研究分野
 担当科目 次の科目群から2~3科目を担当していただく予定です(ただし、これらの科目のみに限定するものではありません):知識ベース方法論、知識創発論、生命知識特論など
 応募資格 博士の学位を有し、上記分野の研究および大学院教育に熱意を有する方。年齢は45歳以上が望ましい。修士論文・博士論文の指導ができること
 着任時期 平成18年4月1日
 提出書類 履歴書、研究業績リスト(研究論文は、国際論文誌・査読付き国際会議・国内の論文誌・その他に区分し、年代の新しいものから順に並べて記載すること。研究論文とは別に、雑誌の編集委員や国際会議のプログラム委員などの、学術的貢献のリストも含めること)、主要論文別刷(5編以内、コピー可。評価の参考になる特記すべき事項や資料(たとえばその論文を引用している論文など)があれば、必要に応じ説明を付し添付)、これまでの研究の概要および今後の研究計画(2000字程度)、教育への抱負(2000字程度)、応募者の業績をよく知っている方(2~3名)の推薦書(推薦者への照会は、選考の過程で必要に応じて行います)
 応募締切 平成17年11月30日(当日消印有効)
 送付先/照会先 〒923-1292 石川県能美市旭台1-1 北陸先端科学技術大学院大学 知識科学研究科長 中森義輝
 E-mail:nakamori@jaist.ac.jp Tel(0761)51-1755 (ダイヤルイン)
 「知識科学研究科遺伝子知識システム論講座 教授応募書類在中」と朱書き書留
 その他 本学では大学の教員などの任期に関する法律に基づき、教員(教授・助教授・講師・助手)を対象とする任期制を導入しております詳しくは任期に関するWebページ(http://www.jaist.ac.jp/~kouhou/General_info/houjin/kisoku/index.html)を参照ください
 JAISTの知識科学研究科について詳細はJAISTのWebページ(<http://www.jaist.ac.jp/index-jp.html>)、および知識科学研究科のWebページ(<http://www.jaist.ac.jp/ks/index.html>)を参照ください

■北陸先端科学技術大学院大学知識科学研究科知識システム基礎学専攻

募集人員 助教授 1名
 所属 知識構造論講座
 専門分野 知識創造のための知識体系化システム、コラボレーションシステム、インフォーマルコミュニケーションシステム、創発メディアなどの構築や研究を通じて、知識創造支援の理論の確立、システム構築法の提案、応用分野の開拓に関する教育・研究分野
 応募資格 博士の学位を有し、上記分野の研究および大学院教育に熱意を有する方
 着任時期 平成18年4月1日
 提出書類 履歴書、研究業績リスト(研究論文は、国際論文誌・査読付き国際会議報告・国内の論文誌・その他に分けて年代の新しいものから順に並べて記載すること。受賞・学会活動などの学術的貢献や外部資金獲得リスト、また研究論文とは別に、雑誌の編集委員や国際会議のプログラム委員などの、学術的貢献リストも含めること)、主要論文別刷(5編以内、コピー可。評価の参考になる特記すべき事項や資料(たとえばその論文を引用している論文など)があれば、必要に応じ説明を付し添付)、これまでの研究の概要および今後の研究計画(2000字程度)、教育への抱負(2000字程度)、応募者の業績をよく知っている方(2~3名)の推薦書(推薦者への照会は、選考の過程で必要に応じて行います)
 応募締切 平成17年11月30日(当日消印有効)
 送付先/照会先 〒923-1292 石川県能美市旭台1-1 北陸先端科学技術大学院大学 知識科学研究科長 中森義輝
 E-mail:nakamori@jaist.ac.jp Tel(0761)51-1755
 その他 詳細はWebページ(<http://www.jaist.ac.jp/jimu/syomu/koubou/index-jp3.htm>)を参照ください

■八代工業高等専門学校情報電子工学科

募集人員	助手 1名
専門分野	情報工学, ソフトウェア工学, 情報通信工学の関連分野
担当科目	情報電子工学実験, 演習, 将来は上記関連分野を担当
応募資格	博士の学位を有する方が就任後早期に取得可能な方, 年齢は採用時で30歳くらいまで, 高専の教育に理解と熱意を持ち, 学術研究に強い意欲のある方
着任時期	平成18年4月1日(予定)
提出書類	履歴書(E-mailアドレスを記入のこと), 研究業績リストおよび研究履歴, 主要論文別刷(5編程度, コピー可), 高専教育に関する抱負(A4用紙1500字程度), 今後の研究展開と抱負(A4用紙1500字程度), 推薦書1通(推薦書がない場合は応募者に対して意見を求めることができる方の氏名・所属・連絡先・応募者との関係を記すこと)
応募締切	平成17年11月30日(必着)
送付先	〒866-8501 熊本県八代市平山新町2627 八代工業高等専門学校 人事委員会委員長 「教員選考応募書類在中」と朱書き簡易書留 *応募書類は原則返却いたしません
照会先	情報電子工学科長 井上 勲 E-mail:iinoue@as.yatsushiro-nct.ac.jp Tel(0965)53-1313
その他	【選考方法】第1次選考:書類審査, 第2次選考:面接審査(平成18年1月中旬, 面接に伴う旅費等は応募者の負担となります) 詳細はWebページ(http://www.yatsushiro-nct.ac.jp/)を参照ください

■九州産業大学情報科学部社会情報システム学科

募集人員	助教授または講師 1名
専門分野	コンピュータサイエンス, ソフトウェア工学, 計算機ネットワークのいずれか. なお, ネットワーク・計算機システムの管理の経験があること
担当科目	プログラミング系科目(プログラミング基礎, データ構造とアルゴリズム, ソフトウェア演習など). 学部内ネットワーク・計算機システムの管理の分担
応募資格	本学の建学の理念(市民的自覚と中道精神の振興, 実践的な学風の確立)に賛同される方, 博士またはPh.D.の学位を有する方, 年齢40歳以下を目安とする(平成18年4月1日現在), 外国人の場合, 日本語が母語でない方は日本語を使用して講義ができる能力を有すること, 情報科学研究科博士前期課程の研究指導ができること
着任時期	平成18年4月1日(予定)
提出書類	履歴書, 教育研究業績リスト(ネットワーク・計算機システムの管理への関与についての記述を含むこと), 主要な研究論文などの別刷(3編程度, コピー可)各1通, 応募資格を証明するもの(修了証明書または修了見込み証明書, 学位記の写し, 研究指導教授の証明書など), 「教育に関する抱負」および「研究計画」(A4用紙各1000字程度), 応募者について意見を伺うことのできる方1名の氏名・所属・連絡先
応募締切	平成17年12月1日(必着)
送付先	〒813-8503 福岡県福岡市東区松香台2-3-1 九州産業大学 情報科学部長 牛島和夫 「教員公募書類在中」と朱書き書留 *提出書類は原則として返却いたしません
照会先	社会情報システム学科 主任 廣田豊彦教授 E-mail:hirota@is.kyusan-u.ac.jp または, 情報科学部事務室 Tel(092)673-5400
その他	【選考方法】選考の結果は, 後日文書により通知いたします. 審査の過程で, 健康診断書(国立病院機構または保健所発行のもの)の提出を求めます. 最終審査の過程で, 専門分野に関してのプレゼンテーションなどを含む面接試験を行います

■茨城大学工学部電気電子工学科

募集人員	助教授または講師 1名
専門分野	情報通信, 情報工学
担当科目	電子計算機工学, 情報ネットワーク, その他電気電子工学の基礎科目
応募資格	博士の学位を有し, 着任時35歳くらいまでの方, 学部・大学院において上記情報通信・情報工学関連の授業を担当できる方, 上記専門領域において十分な研究業績を有している方, 心身が健康であり, 教育・研究に熱心な方
着任時期	平成18年4月1日(予定)
提出書類	履歴書(E-mailアドレスを記載のこと), 研究業績リスト(学術誌論文・国際会議・特許・著書などに分類のこと), 主要論文別刷(5編以内, コピー可), 教育・研究のこれまでの概要と今後の抱負(A4用紙に2枚程度)
応募締切	平成18年12月12日(必着)
送付先/照会先	〒316-8511 茨城県日立市中成沢町4-12-1 茨城大学工学部電気電子工学科 学科長 今井 洋 E-mail:imai@ee.ibaraki.ac.jp Tel(0294)38-5090 Fax(0294)38-5275 「応募書類在中」と朱書き簡易書留
その他	電気電子工学科に関してはWebページ(http://www.ee.ibaraki.ac.jp/)を参照ください

■東京工芸大学工学部コンピュータ応用学科

募集人員 教授、助教授または講師 1名(任期5年、5年目に再任にかかる審査あり)
 専門分野 情報システム、情報通信、情報ネットワーク、その関連分野
 担当科目 情報工学基礎科目、および、専門科目
 応募資格 博士の学位を有し(着任時までに取得の見込みも可)、学部および大学院(博士前期・後期課程)での研究・教育に対して熱意のある方
 着任時期 平成18年4月1日
 提出書類 履歴書(E-mailアドレス記入)、研究業績リスト(共著者はすべて記入)、主要論文別刷(5編程度、コピー可)、着任後の教育・研究に対する抱負(1000字程度)
 応募締切 平成17年12月15日(必着)
 送付先/照会先 〒243-0297 神奈川県厚木市飯山1583 東京工芸大学工学部コンピュータ応用学科 学科主任 木下照弘
 E-mail:kinosita@cs.t-kougei.ac.jp Tel(046)242-9561 Fax(046)242-9566 「応募書類在中」と朱書き書留
 その他 詳細はWebページ(<http://www.t-kougei.ac.jp/offering.html>)を参照いただくか、木下までお問合せください
 (お問合せはなるべくE-mailをご利用ください)

■科学技術振興機構(JST)

募集人員 CREST研究員または技術員 1名
 所属 立命館大学情報理工学部のコンピュータ・グラフィックス第1研究室に向
 専門分野 医療画像処理。JST戦略的創造研究推進事業の研究領域「シミュレーション技術の革新と実用化基盤の構築」の「高度放射線医療のためのシミュレーション基盤の開発」(研究代表者:佐々木節, プロジェクト概要:<http://g4med.kek.jp>)のメンバとして、放射線シミュレーションの可視化に関連する研究と可視化ソフトウェア開発に従事する
 応募資格 研究員の場合、年齢30歳前後までの、関連分野における博士号相当以上の学位取得済みか取得確実な方。または同等以上の能力があると判断される方。技術員の場合、医療用画像ソフトウェア開発に関して、十分な経験と能力があると判断される方
 着任時期 平成18年4月1日(これより早い時期の着任も可能)
 提出書類 履歴書(E-mailアドレス、着任可能時期を明記)、業績リスト、能力を判断するための資料3点以内(論文別刷、自作ソフトウェアについての解説など)、推薦書1通以上、応募理由および抱負(計1500文字以内)
 応募締切 平成17年12月20日(随時選考し、適任者がいた場合は終了)
 送付先/照会先 〒525-8577 滋賀県草津市野路東1-1-1 立命館大学情報理工学部メディア情報学科 教授 田中 覚
 E-mail:stanaka@media.ritsumeai.ac.jp
 その他 任期は1年だが、最長でプロジェクト終了の平成20年9月まで更新可能

■高エネルギー加速器研究機構

募集人員 研究員または技術員 若干名
 所属 科学技術振興機構 CREST
 専門分野 コンピュータサイエンス、応用物理、放射線化学
 応募資格 研究員:年齢30歳前後までの方。関連分野における博士号相当以上の学位を有する方(または取得確実な方)、または同等以上の能力があると判断される方
 技術員:大学卒業相当以上の学歴の方。医療用ソフトウェア開発に必要な、十分な経験と能力があると判断される方。高エネルギー加速器研究機構に勤務し、主に粒子線治療シミュレーションに関連したソフトウェアの研究開発に従事していただく
 着任時期 平成18年4月1日以前(当日含む)
 提出書類 履歴書(どの職種に応募するかを明記し、E-mailアドレスおよび着任可能時期も明記すること)、業績リスト、職歴のある場合は職務経歴書、能力を判断するための資料3点以内(論文別刷、自作ソフトウェアなど。コピー可、URLのみは不可)、推薦書1通以上、応募動機および抱負(計1500字以下)
 応募締切 平成17年12月20日(随時選考し、早期に締め切る場合もある)
 送付先 〒305-0801 茨城県つくば市大穂1-1 高エネルギー加速器研究機構計算科学センター CREST事務担当 本田
 E-mail:yhonda@post.kek.jp Tel(029)864-5476 *応募書類は一切返却いたしません *E-mailでの応募も可
 照会先 計算科学センター 佐々木節 E-mail:Takashi.Sasaki@kek.jp
 その他 詳細はJREC-INのWebページ(<http://jrecin.jst.go.jp>)でデータ番号「D105081307」を参照ください。
 プロジェクトの紹介はwebページ(<http://www.simulation.jst.go.jp/scholar/crest15/03sasaki.html>)を参照ください

■北陸先端科学技術大学院大学知識科学研究科知識システム基礎学専攻

- 募集人員 助手 1名
 所 属 知識構造論講座
 専門分野 知識創造のための知識体系化システム, コラボレーションシステム, インフォーマルコミュニケーションシステム, 創発メディアなどの構築や研究を通じて, 知識創造支援の理論の確立, システム構築法の提案, 応用分野の開拓に関連する研究分野
 応募資格 博士の学位を有する方(または着任までに取得見込みの方), 上記分野の研究および大学院教育に熱意を有する方
 着任時期 平成18年4月1日
 提出書類 履歴書, 研究業績リスト(研究論文は, 国際論文誌・査読付き国際会議報告・国内の論文誌・その他に分けて年代の新しいものから順に並べて記載すること, 受賞・学会活動などの学術的貢献や外部資金獲得リスト, また研究論文とは別に, 雑誌の編集委員や国際会議のプログラム委員などの, 学術的貢献リストも含めること), 主要論文別刷(5編以内, コピー可, 評価の参考になる特記すべき事項や資料(たとえばその論文を引用している論文など)があれば, 必要に応じ説明を付し添付), これまでの研究の概要および今後の研究計画(2000字程度), 応募者の業績をよく知っている方(2~3名)の推薦書(推薦者への照会は, 選考の過程で必要に応じて行います)
 応募締切 平成17年12月30日(当日消印有効)
 送付先/照会先 〒923-1292 石川県能美市旭台1-1 北陸先端科学技術大学院大学 知識科学研究科長 中森義輝
 E-mail:nakamori@jaist.ac.jp Tel(0761)51-1755
 そ の 他 詳細はWebページ(<http://www.jaist.ac.jp/jimu/syomu/koubo/index-jp3.htm>)を参照ください

■北陸先端科学技術大学院大学知識科学研究科知識社会システム学専攻

- 募集人員 助手 1名
 所 属 創造性開発システム論講座
 専門分野 知識創造のための知識システム, グループウェアや学習システムの構築や研究を通じて, 創造性開発システム理論の確立, システム構築法の提案, 応用分野の開拓に関する研究分野
 応募資格 博士の学位を有する方(または着任までに取得見込みの方), 上記分野の研究および大学院教育に熱意を有する方
 着任時期 平成18年4月1日
 提出書類 履歴書, 研究業績リスト(研究論文は, 国際論文誌・査読付き国際会議・国内の論文誌・その他に分けて年代の新しいものから順に並べて記載すること, 研究論文とは別に, 雑誌の編集委員や国際会議のプログラム委員などの, 学術的貢献リストも含めること), 主要論文別刷(5編以内, コピー可, 評価の参考になる特記すべき事項や資料(たとえばその論文を引用している論文など)があれば, 必要に応じ説明を付し添付), これまでの研究の概要および今後の研究計画(2000字程度), 応募者の業績をよく知っている方(2~3名)の推薦書(推薦者への照会は, 選考の過程で必要に応じて行います)
 応募締切 平成17年12月30日(当日消印有効)
 送付先/照会先 〒923-1292 石川県能美市旭台1-1 北陸先端科学技術大学院大学 知識科学研究科長 中森義輝
 E-mail:nakamori@jaist.ac.jp Tel(0761)51-1755
 そ の 他 詳細はWebページ(<http://www.jaist.ac.jp/jimu/syomu/koubo/index-jp3.htm>)を参照ください

情報処理学会 第 68 回全国大会
【大会スローガン：未来を拓く情報学】
一般・学生セッション、デモセッション
講演募集案内

【会期】2006年3月7日(火)～10日(金)
【会場】工学院大学 新宿キャンパス
 (東京都新宿区西新宿 1-24-2)

第 68 回全国大会ホームページ
<http://www.ipsj.or.jp/10jigyo/taikai/68kai/>

情報処理学会では、第 68 回全国大会の一般・学生セッション、デモセッションの講演申込受付を以下のとおり行います。毎回 1,000 件を超える発表申込を頂き活発な議論、意見交換、交流が行われております。皆様の研究成果発表の場として、是非とも奮って御申込下さい。

【募集分野】

- 以下の分野で募集を行います。
 詳しくは第 68 回全国大会ホームページをご覧ください。
1. アーキテクチャ
 2. ソフトウェア科学・工学
 3. 人工知能と認知科学
 4. データベースとメディア
 5. ネットワーク
 6. インタフェース
 7. コンピュータと人間社会

【講演募集内容と使用言語】

1. 全国大会にふさわしい内容を備えたものとします。
 (情報技術の学術・技術の振興に寄与する研究成果の発表)
2. 発表は日本語または英語とします。

【講演申込資格】

申込種別	資格
一般セッション	不問
学生セッション	高専・大学学部・修士(博士前期課程)在学者
デモセッション	不問

【講演時間(質疑応答含む)、論文頁数】

講演申込種別	講演時間	原稿頁
一般セッション	20 分	2 頁
学生セッション	15 分	2 頁
デモセッション	1-3 日(1 日単位)	2 頁(提出任意)

【講演申込・原稿投稿日程】

講演申込・原稿投稿受付開始:平成 17 年 9 月 15 日(木)
 講演申込・修正・取消 締切日:平成 17 年 11 月 25 日(金)
 原稿投稿・差換え締切日 :平成 18 年 1 月 13 日(金)

【講演申込・原稿投稿方法】

講演申込、原稿投稿は、すべて Web を通じておこなって頂きます。
 標記の第 68 回全国大会ホームページからお願い致します。

【講演申込にあたっての注意事項】

- *講演申込締切後の申込情報変更は、一切受け付けません。
- *講演の代理(代読)は原則として認めません。
- *講演キャンセルの連絡は、必ず電子メールにて次のアドレス

までお願い致します。[ipsj@gakkai-web.net]

*講演申込登録締切後に講演をキャンセルされましても、講演参加費および論文集代(希望者のみ)はお支払い頂くこととなりますのでご注意ください。

【講演参加費・講演論文集代(税込)】

申込種別	会員種別	費用(税込み)
一般セッション 学生セッション デモセッション	正会員	10,000円
	学生会員	6,000円
	一般非会員	25,000円
	学生非会員	15,000円
講演論文集(希望者のみ)	全種別	3,000円

- *会員とは、講演者が 本会(含む入会申請中)、電子情報通信、電気、映像情報メディア、照明の会員番号をお持ちの個人会員の方です。講演申込締切後に入会されても講演参加費の金額変更はいたしませんのでご注意ください。
- *講演参加費には、講演料、本人論文の別刷 50 部、全論文収録の CD-ROM、大会参加費が含まれます。
- *講演者の方には、ご自身の論文が掲載されている講演論文集 1 部に限り、講演申込同時予約販売をいたします。ご希望の方は、講演申込書またはデモセッション申込書の講演論文集欄を「希望する」にチェックしてください。
- *デモセッションは上記講演参加費で 1 日デモを行えます。従って 2 日デモを行う場合には 2 倍、3 日ならば 3 倍の講演参加費が必要となります。
- *一般または学生セッションでの講演とデモセッションを行う場合には、一般または学生セッションの講演参加費とデモセッションの講演参加費それぞれが必要となります。

【表彰について】

全国大会では、発表された論文の中から優秀な論文、発表に対して以下の賞を贈呈いたします。なお、大会優秀賞、大会奨励賞については、当会の個人会員に限ります。

賞の種類	受賞者
大会優秀賞	全国大会で発表された方のうち、特に優秀な論文の登壇発表者 10 名前後。
大会奨励賞	学部在学から卒業後 10 年までの新進の科学者または技術者の論文の登壇発表者 10 名前後。
学生奨励賞	各学生セッションで発表された中から、優秀な発表と判断された 1 名に対して大会のローカルアワードとして授与(該当なしの場合もあり)。

【講演機器】

講演機器は、プロジェクターになります。接続ケーブルは、D-sub15 ピンです。プロジェクターの解像度は、XGA(1024×768)対応となっております。
 ノート PC は、準備しておりませんので各自で必ずご持参願います。

【大会最新情報の掲載】

講演申込に関する詳細、大会で開催予定の招待講演、特別セッション等イベント企画の詳細等第 68 回全国大会に関する最新情報は大会ホームページへ逐一掲載してまいりますので御確認下さい。

【問合せ先】

社団法人情報処理学会 事業部門
 Tel.03-3518-8373 Fax.03-3518-8375
 e-mail:jigyo@ipsj.or.jp

◆◆ 有料会告について ◆◆

本会の主催・共催行事および協賛・後援記事の次第書（論文募集、参加案内等）の本誌掲載については、下記により有料にて取り扱っていますのでお知らせします。

記

■掲載条件

件名	内容	掲載単位	掲載料金（消費税込）	
論文募集／ 参加者募集	国際会議、シンポジウム、ワークショップ、講演会、講習会などの論文募集・参加者募集	1 ページ、1/2 ページまたは 1/4 ページ	(主催・共催)	
			1 ページ	52,500 円
			1/2 ページ	31,500 円
			1/4 ページ	21,000 円
			(協賛)	
広告として取り扱う				
人材募集	国公立教育機関、国公立研究機関、 企業の人材募集	10 行程度	国公立教育機関、国公立研究機関	21,000 円
			賛助会員（企業）	31,500 円
			賛助会員以外の企業	52,500 円
			* 本会誌へ掲載依頼いただいた場合に限り、追加料金 4,000 円で同一内容を本会 Web ページに掲載できます。	

■申込方法

任意の用紙に、件名、申込者氏名、勤務先、職名、住所、電話番号および請求書宛先、Web 掲載の有無（人材募集のみ）などを記載し、掲載希望原稿を添えて下記の申込先へお申し込みください。

■原稿の書き方

- 行事次第書： A4 判カメラレディまたは PDF ファイル（フォント埋め込み）とします。
 (1 ページ) 天地 260mm × 左右 175mm
 (1/2 ページ) 天地 130mm × 左右 175mm
 (1/4 ページ) 天地 65mm × 左右 175mm
 * A4 判以外の原稿は縮小または拡大となりますのでご注意ください。

- 人材募集： 次の項目を明記し、E-mail または Fax、郵送にてお送りください。
 [募集職種、募集人員、(所属)、専門分野、(担当科目)、応募資格、着任時期、提出書類、応募締切、送付先、照会先]
 * なお、都合により編集させていただく場合がありますので、ご了承ください。

■申込期限

毎月 15 日を締切日とし、翌月号（15 日発行）に掲載します。

■掲載料金

掲載号発行日に料金を請求いたしますので、3 カ月以内にお支払いください。

■掲載申込先

(社) 情報処理学会 会誌編集部門 (有料会告係)
 〒 101-0062 東京都千代田区神田駿河台 1-5 化学会館 4F
 E-mail: editj@ipsj.or.jp Tel (03) 3518-8371 Fax (03) 3518-8375

ITText 一般教育シリーズ
情報とコンピューティング

河村一樹 編著
A5判/218頁/本体2,500円(税別)

ITText 一般教育シリーズ
情報と社会

駒谷昇一 編著
A5判/220頁/本体2,500円(税別)



新刊!!

ITText 分散処理

谷口 秀夫 編著
A5判/240頁/本体2,800円(税別)

ITText 人工知能

本位田真一 監修、松本一教・宮原哲浩・永井保夫 共著
A5判/200頁/本体2,500円(税別)

好評既刊書

ITText コンパイラとバーチャルマシン

今城哲二・布広永示・岩澤京子・千葉雄司 共著
A5判/212頁/本体2,800円(税別)

ITText コンピュータグラフィックス

魏 大名・Carl Vilbrandt・Roman Durikovic・先田和弘・向井信彦 共著
A5判/280頁/本体3,000円(税別)

ITText コンピュータネットワーク

松下 温・重野 寛・屋代智之 共著
A5判/216頁/本体2,500円(税別)

ITText 音声認識システム

鹿野清宏・伊藤克巨・河原達也・武田一哉・山本幹雄 編著
A5判/216頁/CD-ROM付/本体3,500円(税別)



ITText エージェント工学

西田豊明・木下哲男・北村泰彦・間瀬健二 共著
A5判/226頁/本体2,800円(税別)

ITText ヒューマンコンピュータインタラクション

岡田謙一・西田正吾・葛岡英明・塩澤秀和・仲谷美江 共著
A5判/240頁/本体2,800円(税別)

ITText オペレーティングシステム

野口健一郎 著
A5判/240頁/本体2,800円(税別)

ITText データベース

速水治夫・宮崎収兄・山崎晴明 共著
A5判/196頁/本体2,500円(税別)

ITText ソフトウェア工学演習

伊藤 潔・廣田豊彦・富士 隆・熊谷 敏・川端 亮 共著
A5判/228頁/本体2,800円(税別)

ITText 情報リテラシー

海野 敏・田村恭久 共著
A5判/248頁/本体2,800円(税別)

ITText コンピュータアーキテクチャ

内田啓一郎・小柳 滋 共著
A5判/236頁/本体2,800円(税別)

ITText 応用Web技術

市村 哲・宇田隆哉・伊藤雅仁 共著
A5判/210頁/本体2,500円(税別)

ITText 認知インタフェース

加藤 隆 著
A5判/248頁/本体2,800円(税別)

ITText プログラム仕様記述論

荒木啓二郎・張 漢明 共著
A5判/210頁/本体2,800円(税別)

ITText 情報と職業

駒谷昇一・辰巳丈夫・楠元範明 共著
A5判/232頁/本体2,500円(税別)

ITText アルゴリズム論

浅野哲夫・和田幸一・増澤利光 共著
A5判/242頁/本体2,800円(税別)

IT Text ソフトウェア開発

小泉寿男・辻 秀一・吉田幸二・中島 毅 共著
A5判/224頁/本体2,800円(税別)

ITText 基礎Web技術

松下 温 監修/市村 哲・宇田隆哉・伊藤雅仁 共著
A5判/200頁/本体2,500円(税別)

ITText 知識マネジメント

大澤幸生 編著
A5判/232頁/本体2,800円(税別)

ITText 情報セキュリティ

宮地充子・菊池浩明 編著
A5判/280頁/本体3,000円(税別)

学生のみなさま!

～情報処理学会よりお知らせです～

平成 17 年度は学生会員は申請により 1 件のみ

研究会を無料で登録 できます。

この機会にぜひ登録をご検討ください!



▼申込/照会先

(社) 情報処理学会 研究部門 調査研究担当

E-mail: sig@ipsj.or.jp

Tel(03)3518-8372 (研究部門直通) Fax(03)3518-8375 (共通)

<http://www.ipsj.or.jp/09sig/kenkyukai/toroku.html>



書評・会議レポート募集のお知らせ

情報処理学会会誌編集委員会では、会誌「情報処理」に掲載する書評、および会議レポートを広く会員の皆さまから募集しています。

1. 募集対象 次の 2 種類の記事について、原稿を募集します。
 - a) 書評 : 過去 2 年間に出版された、本学会員にとって有益な図書についての紹介もしくは批評。
 - b) 会議レポート: 情報処理に関する国際規模の会議・大会の報告など、時事性が高く、本学会員に広く知らせる価値のある話題。

2. 応募資格
原則として本学会員に限ります。

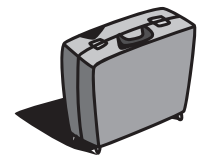
3. 応募の手続き

- 1) 表題: 書評の場合は、著者名、書名、ページ数、発行所、発行年、価格、ISBN を書く。
会議レポートは、見出しを書く。書評、会議レポートの別を左肩に書く。
- 2) 評者名(会議レポートの場合は筆者名)・所属・評者連絡先(住所、E-mail、Fax など)の記載を忘れずに。
- 3) 本文: 書評、会議レポートとも 2,100 字前後で書く。
- 4) (必要であれば) 参考文献、付録、図、表をつける。
詳しくは「原稿執筆案内」(<http://www.ipsj.or.jp/07editj/toukou/shippitsu/kaishi.html>) を参照してください。

4. 原稿の取扱い

投稿された原稿は会誌編集委員会で審査し、採否を決定します。採用にあたっては原稿の修正をお願いすることがあります。あらかじめご了承ください。

5. 照会/応募先 (社) 情報処理学会 会誌編集部門 E-mail: editj@ipsj.or.jp



会員皆様への「情報処理学会倫理綱領」遵守のお願い

最近、残念なことに、本会の著作権規程に違反するなど学会員としてのモラルを欠くような事態が見受けられます。本会では、学会員の倫理規範である「情報処理学会倫理綱領」を以下の通り設けておりますが、会員皆様におかれましては、この機会に改めてご一読いただき、学会員としての規範を遵守くださるようお願いいたします。

「情報処理学会倫理綱領」

前文

我々情報処理学会会員は、情報処理技術が国境を越えて社会に対して強くかつ広い影響力を持つことを認識し、情報処理技術が社会に貢献し公益に寄与することを願い、情報処理技術の研究、開発および利用にあたっては、適用される法令とともに、次の行動規範を遵守する。

1. 社会人として

- 1.1 他者の生命、安全、財産を侵害しない。
- 1.2 他者の人格とプライバシーを尊重する。
- 1.3 他者の知的財産権と知的成果を尊重する。
- 1.4 情報システムや通信ネットワークの運用規則を遵守する。
- 1.5 社会における文化の多様性に配慮する。

2. 専門家として

- 2.1 たえず専門能力の向上に努め、業務においては最善を尽くす。
- 2.2 事実やデータを尊重する。
- 2.3 情報処理技術がもたらす社会やユーザへの影響とリスクについて配慮する。
- 2.4 依頼者との契約や合意を尊重し、依頼者の秘匿情報を守る。

3. 組織責任者として

- 3.1 情報システムの開発と運用によって影響を受けるすべての人々の要求に応じ、その尊厳を損なわないように配慮する。
- 3.2 情報システムの相互接続について、管理方針の異なる情報システムの存在することを認め、その接続がいかなる人々の人格をも侵害しないように配慮する。
- 3.3 情報システムの開発と運用について、資源の正当かつ適切な利用のための規則を作成し、その実施に責任を持つ。
- 3.4 情報処理技術の原則、制約、リスクについて、自己が属する組織の構成員が学ぶ機会を設ける。

注

本綱領は必ずしも会員個人が直面するすべての場面に適用できるとは限らず、研究領域における他の倫理規範との矛盾が生じることや、個々の場面においてどの条項に準拠すべきであるか不明確（具体的な行動に対して相互の条項が矛盾する場合を含む。）であることもあり得る。したがって、具体的な場面における準拠条項の選択や優先度等の判断は、会員個人の責任に委ねられるものとする。

付記

1. 本綱領は平成8年5月20日より施行する。
2. 本綱領の解釈および見直しについては、必要に応じて委員会を設置する。

ご意見をお寄せください!

【11月10日頃までにお出しく下さい】

宛先 (社)情報処理学会 モニタ係(下記のいずれからも送付できます)
http://www.ipsj.or.jp/02moshikomi/enq/enq4610.html Fax(03)3518-8375 E-mail:editj@ipsj.or.jp
(E-mailで送信される場合は、10-1-aのようにコードでお答えください)

※ご意見の投稿に伴う、住所、氏名、所属などの個人情報については、学会のプライバシーポリシーに準じて取り扱いたします。
http://www.ipsj.or.jp/03somu/privacypolicy/privacypolicy.html

[コード]

1. ご氏名
2. ご所属 Tel. () -
3. E-mail:
4. 業種: (a) 企業(サービス業) (b) 企業(製造業) (c) 研究機関 (d) 教育機関(大学・高専など)
(e) 学生 (f) その他 4-
5. 職種: (a) 研究職 (b) 開発・設計 (c) システムエンジニア (d) 営業 (e) 本社管理業務
(f) 会社経営・役員・管理職 (g) 教官/教員(大学・大学院) (h) 教職員(小・中・高校・高専など)
(i) 学生 (j) その他 5-
6. 年齢: (a) 10代 (b) 20代 (c) 30代 (d) 40代 (e) 50代 (f) 60代以上 6-
7. 性別: (a) 男性 (b) 女性 7-
8. あなたはモニタですか?: (a) はい (b) いいえ 8-
9. あなたのご意見は「会員の広場」(会誌およびWeb)に掲載される場合があります。その場合:
(a) 実名可(氏名のみ掲載) (b) 匿名希望 (c) 掲載を希望しない 9-
10. 今月号(2005年10月号)の記事についてのあなたの評価をご記入ください。
[a...大変参考になった b...よい c...普通、どちらとも言えない d...悪い e...読んでいない]

特集:新世代マイクロプロセッサアーキテクチャ(前編)

1. 新世代プロセッサアーキテクチャの展開 10-1-
2. スーパースカラ/VLIWプロセッサとスループット指向MTプロセッサ 10-2-
3. クラスタ型プロセッサ 10-3-
4. メモリ混載プロセッサ 10-4-
5. チップ・マルチプロセッサ 10-5-
6. タイルプロセッサ 10-6-
7. 再構成可能プロセッサ 10-7-
- 健康生活を支えるIT技術の動向 10-8-
- コンピュータのその先を見せる 10-9-
- スケルトン並列プログラミング 10-10-
- Haskellプログラミング:関数画家 10-11-
- 日本の提案に基づくIFIPのエンタテインメントコンピューティングの新展開 10-12-
- アメリカITまわりの話題:うるう秒はITの大敵?! 10-13-
- 日本のIT事情:魚釣り禁止とインターネット 10-14-
- 私の情報整理術:ユビキタス時代の情報整理術 10-15-
- 情報技術と医療:POASを用いた機能管理 10-16-
- 20世紀の名著名論:W.W. Peterson: Error-Correcting Codes 10-17-
- 20世紀の名著名論:Gordon E. Moore: Cramming More Components onto Integrated Circuits 10-18-

11. 特に興味を持ってお読みになった記事とその感想をお書きください。

12. 著者への質問、今後取り上げて欲しいテーマ、また「道しるべ」に取り上げてほしいテーマなどありましたらお書きください。

私が学生のころ、編集長の和田英一先生に Lisp の処理系を教わりました。当時、コンピュータやネットワークは限られたごく一部の人のもので、私が使っていた VAX11/780 の処理速度は、今の PC の千分の一以下だったと思います。四半世紀前ですが、コンピュータ年代でいえば中世というところ。そんな中で、幼稚なガーベッジコレクタやコルーチンの処理系を組み立てて遊んでいました。

本号と次号でマイクロプロセッサの特集をいたします。ここで取り上げられているアイディアは、多くが 1960 年

代から 70 年代といういわば古代に源を発するものですが、Moore の法則に象徴されるデバイス技術の長足の進歩を介して、夢があたりまえの現実になり、さらに大きな発展をとげている、というわけです。

一方で、プロセッサも、情報処理自体も、大きなパラダイムシフトの時期を迎えています。この慌ただしさでは樂觀などできませんが、コンピュータアーキテクトの未来が活気に満ちた明るいものになりますように。

(坂井修一／本特集エディタ)

次号 (11 月号) 予定目次

編集の都合により変更になる場合がありますのでご了承ください。

「特集」新世代マイクロプロセッサアーキテクチャ (後編)

省電力とプロセッサ／信頼性・安全性とプロセッサ／命令セットアーキテクチャとマイクロアーキテクチャ／コンパイラとマイクロプロセッサ／NIAGARA: A 32-WAY MULTITHREADED SPARC PROCESSOR / Cell / ユビキタス・コンピューティング時代の組み込みマイクロコンピュータ, SuperH と M32R / 動的再構成プロセッサ (DRP)

事例

認知障害を持つ人を支援するソシオテクニカル環境..... Gerhard Fisher, 翻訳: 山崎 竹視

連載 Haskell プログラミング

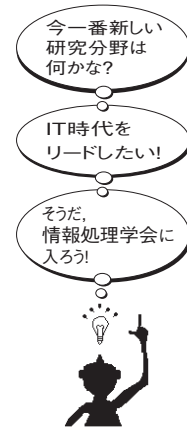
コラム アメリカ IT まわりの話題 / 欧州の IT 技術とビジネス / 情報技術と医療 / 20 世紀の名著名論 / 日本の IT 事情 / 私の情報整理術

会員募集中!!

IT の最新情報, 研究発表の場の提供を通じて, あなたのお役に立ちます。

詳しくは Web サイト <http://www.ipsj.or.jp/> をご覧ください

申込/照会先 社団法人 情報処理学会
〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台1-5 化学会館4F
Tel(03)3518-8370(会員サービス部門) E-mail:mem@ipsj.or.jp



複写される方に

℞ <学術著作権協会依頼>

本誌に掲載された著作物を複写したい方は、(社)日本複写権センターと包括複写許諾契約を締結されている企業の従業員以外は、図書館も著作権者から複写権の行使の委託を受けている次の団体から許諾を受けてください。著作物の転載・翻訳のような複写以外の許諾は、直接当学会へご連絡ください。

〒170-0052 東京都港区赤坂 9-6-41 乃木坂ビル

学術著作権協会

E-mail: naka-atsu@mju.biglobe.ne.jp

Tel (03)3475-5618 Fax (03)3475-5619

ただし、アメリカ合衆国における複写については、右記の In the USA に記載の所へご照会ください。

Notice about Photocopying

In order to photocopy any work from this publication, you or your organization must obtain permission from the following organization, which has been delegated for copyright for clearance by the copyright owner of this publication.

Except in the USA

Japan Academic Association for Copyright

Clearance (JAACC)

6-41 Akasaka 9-chome, Minato-ku, Tokyo

107-0052, Japan

E-mail: naka-atsu@mju.biglobe.ne.jp

Tel: 81-3-3475-5618 Fax: 81-3-3475-5619

In the USA

Copyright Clearance Center, Inc. (CCC)

222 Rosewood Drive, Danvers, MA 01923, USA

Phone: (978)750-8400 Fax: (978)750-4744

<http://www.copyright.com>

掲載広告カタログ・資料請求用紙

掲載広告の詳しい資料をご希望の方は、必要事項をご記入の上、E-mail:sei@ss-com.co.jp または Fax.03-3368-1519 へご請求ください。

「情報処理」 月号をみて

広告主名	製品名	希望項目 [※]	その他要望事項

※希望項目：A 購入希望, B 担当者から連絡・訪問希望, C カタログ希望

フリガナ
お名前

勤務先

所属部署

所在地

(〒 -)

TEL ()

-

FAX ()

-

ご専門の分野

広告のお問合せ・お申込みは・・・広告総代理店（株）精機通信社へ

発行 社団法人 情報処理学会
 発行部数 30,000 部
 体裁 A4 判
 発行日 毎当月 15 日
 申込締切 前月 10 日
 原稿締切 前月 20 日
 広告原稿 オフセット用ポジフィルム
 原稿寸法 1 頁 天地 260mm × 左右 180mm
 1/2 頁 天地 125mm × 左右 180mm
 雑誌寸法 天地 297mm × 左右 210mm

お問合せ・お申込みは

広告総代理店

（株）精機通信社 Tel.03-3367-0571

〒 169-0073 東京都新宿区百人町 2-21-27

Fax.03-3368-1519 E-mail: sei@ss-com.co.jp

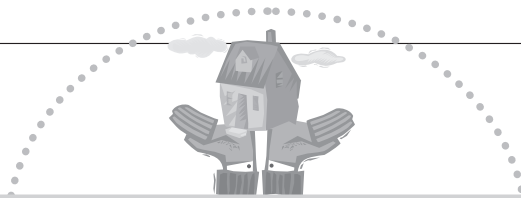
■広告料金表

掲載場所	4 色	2 色	1 色
表 2	346,500 円 (税抜 330,000 円)	—	—
表 3	288,750 円 (税抜 275,000 円)	—	—
表 4	404,250 円 (税抜 385,000 円)	—	—
表 2 対向	315,000 円 (税抜 300,000 円)	—	—
表 3 対向	278,250 円 (税抜 265,000 円)	199,500 円 (税抜 190,000 円)	162,750 円 (税抜 155,000 円)
前付 1 頁	262,500 円 (税抜 250,000 円)	173,250 円 (税抜 165,000 円)	141,750 円 (税抜 135,000 円)
前付 1/2 頁	—	—	84,000 円 (税抜 80,000 円)
前付最終	—	—	155,400 円 (税抜 148,000 円)
目次前	—	—	155,400 円 (税抜 148,000 円)
差込 (A 判 70.5kg 未満 1 枚)	288,750 円 (税抜 275,000 円)		
差込 (A 判 70.5kg ~ 86.5kg 1 枚)	367,500 円 (税抜 350,000 円)		

* 上記料金はポジフィルム納入による料金です。

* 版下・製版等が必要な場合には別途実費申し受けます。

* 断切広告は上記料金の 10% 増です。ただし、表 4 は不可。



賛助会員のご紹介

本会をご支援いただいております賛助会員をご紹介します。

Web サイト (<http://www.ipsj.or.jp>) 「会員サービス」のページからも各社へリンクサービスを行っておりますので、ぜひご覧ください。

照会先 (社) 情報処理学会 会員サービス部門 E-mail:mem@ipsj.or.jp Tel.(03)3518-8370

●●● 賛助会員 (15口以上)



株式会社NTTデータ
(株) NTT データ

●●● 賛助会員 (10～14口以上)



NTTコムウェア
NTTコムウェア(株)



日本アイ・ビー・エム(株)

HITACHI
Inspire the Next

(株) 日立製作所



富士通(株)



マイクロソフト(株)

MITSUBISHI
Changes for the Better

三菱電機(株)

(株) NTTドコモ / (株) 東芝

日本電気(株) / 日本電信電話(株) / 船井電機(株)

●●● 賛助会員 (3～5口)



沖電気工業(株)

HITACHI
Inspire the Next

(株) 日立アドバンスデジタル

松下電器産業(株)

読後のご意見をお送りください

本誌では、現在約90名の方々に毎号のモニタをお願いしておりますが、より多くの読者の皆さんからのご意見、ご提案をおうかがいし、誌面の充実に役立てていきたいと考えておりますので、毎号巻末に掲載しております所定の用紙またはWebページ (<http://www.ipsj.or.jp/02moshikomi/enq/enquete.html>) をお使いいただき、奮って事務局までお寄せください。

(社) 情報処理学会 会誌編集部門

〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台1-5 化学会館4F E-mail: editj@ipsj.or.jp Fax (03)3518-8375